

HARLEM

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"

This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...



Special Interview HELL RAISER CARTEL - KZA (FORCE OF NATURE) & DEV LARGE -

[HARLEM ver.1.0]に参加し、その正体は誰なのか巻で囁かれていた謎のユニット“HELL RAISER CARTEL”の全貌が明らかに！7/24に1st ALBUMをリリースしたFORCE OF NATUREのKZAと、御存知DEV LARGE。この一見異色のタッグにより生み出される野望と展望は果してしない。今後の動きを一瞬たりとも目を離すべからず!!

●まず始めにHELL RAISER CARTEL結成のきっかけとHARLEM ver.1.0に提供した曲に対する想いを教えて下さい。
DEV LARGE (以下、D)：前からこの素晴らしい不発の核弾頭を遠目からずっと眺めていた。いつも一緒に仕事しようと考えていて、その日もそれでうなされていたらキタちゃん(KZA)から電話が来て、“HARLEMのコンビで1曲やるんだけど一緒にやらない？”って言われて、そこからROLLING STONEだよね。転がっちゃって感じ。

KZA (以下、K)：最初はインストでって事だったんだけど、いろいろ話し合った結果、今のHIP HOPシーンに石投げようかって事になってRAPPERを入れようかと。それで曲を作っていくうちに、これだったらアルバム1枚いけるんじゃないかって事になって、HARLEMの作品が終わった後も、いろいろ話しを詰めて本格的に行こうかということになりつつあった。

D：それで、今回はやっぱりHARLEMのコンビっていう事あって、新陳代謝が激しいというか、ある一定の時期が来るって、今まで楽しんでた人が卒業する人もいれば、また若い人の血が混ざりますよね。そういう部分で多分若い人は今の音楽を普通に日常生活の中で聴いてると思ってたので、そういう所にフォーカスして、他のトラックメーカーの人とかMCが何をやってるのか二人で想像出来たので、それも出来なくはないけど、オレ達が見てきて感じたHIP HOPの面白さとか、自然に通った黄金期の部分を何かの形で曲に浸透させるようなものを作ろうって事になって、ちょっと古い感じには聴こえるけど、エッジのあるその時期のものにしたんです。最近一回聴いて二回目ワークマンで聴くとかプレイバックしたいと思う曲があんまりないので、強烈にプンプン臭うような、トラウマになっちゃうような曲を作りたいと思って、そういう角度で考えていくと、やっぱり行き着くところは基本のアルティメイト・ブレイク・ビーツ系なんです。今回はサブステーションなんですけど、次は何にするか分かんない。

K：そうそう、これは最近全然使われてはいないんだけど、でもやっぱりクラシックなビートだし、このくらい若い子が知っていても損はないんじゃないかっていう。声ネタのチョイスに関しては、割とクラシックで固めて。

D：今はすごい売れ線の感じに固められちゃって、売れ線のフォーマットのベルトコンベアに乗った奴らと、ちょっと青田刈りされて、ツバつけておいてメジャーと契約されたような人があると思うんですよ。売れるのかわからないかも知れないけど、めちゃくちゃやっちゃってっていうのはキエるマキウくらいしか感じられない。だからどっちかって言うとこの3つ目のチョイスをやってみようかというのがあったんですよ。それを丁度キタちゃんに話したら、いいねって感じで、じゃあ形にしてあげようかって話になった第一歩って言うんですけど、今回やらせてもらったものなんですよ。どっちかって言うと、金とアーティストックな芸術だったら芸術の方を取りたいユニットではあるんですけど、金、金でてるものもあるし、それは他の形で出来ると思うんですよ。そうじゃないものを、よく音楽を熟知したキタちゃんで作りたいっていうのが今回のHELL RAISER CARTELだし、今後進めて行きたい。Return of artformだね。

●HELL RAISER CARTELの名前の由来は？

D：オレが勝手に付けた(笑)。

K：(笑)。なんか色々候補があって、オレもHELL RAISERってカッコイイんじゃないかなって。

D：最近凄く毒舌いものがない、毒の抜けた、例えば比喩表現で言うとかの抜けたソーダみたいな気が利いてないものが多いって出てきたんだ、HIP HOPシーンって。オレはもって毒舌いのがなくて、ツルツルとした肌だったり毛むくじゃらで凄く男っぽいのが好きなので、そういうのを作りたいなって思って。そしてポイズンとかペナムとかヘルって言葉が浮かんできて、それを組み合わせようかと思っていうか作り出さうって事を考えてたので、“HELL RAISER”で、キタちゃんの好きなSOUTH CENTRAL CARTELのCARTELを付けて“HELL RAISER CARTEL”。それとキタちゃんの好きなTHREE 6 Mafiaに対抗してTHREE 7 Yakuzaという感じ。KZAは影のMASTER MINDなので。

●IQoo、Twinkle、JOHNNY DIABLOを選んだ基準は？

K：Twinkleはデミさん(NIPPS)の曲(feat.しているもの)を最初聴かせてもらった、今ちゃん(DEV LARGE)の薦めもあって、実際スタジオに入って聴いてみたら凄くカッコイイなと思ってパチパチでした。JOHNNY DIABLOは前から友達で、IQooに関しては前から友達だし、彼ら二人ともいいと思ったから。

D：Twinkleは何世代とか無い凄くSUPER SLYME FLOWでヤラしちゃいますね。クルクルはめられて、まだ固定メンバーは居ないんだよ。まあTwinkleを多めに使ってるっていうだけで、色々はめて行きたい人はいっぱい居て、勝手にこれからスカウトしようって感じなんだよね。

K：女性ラッパーとかも色々。

D：グレイシーっていう女の子がなくて。あとPOWとGO。POWはFUSION COREの、GOはFLICKの。それとG.K.MARYANにもやってもらいたくて。熱い人だけで固めたい。

K：そうだね。男臭い人達で。そういえば、今ちゃんNIPPSもHELL RAISERに加わったんだよね...

D：そうそう。女性もオッケー。熱い人であれば。

●今回のようにCLUBがオリジナル音源を使って作品を出すという事について何か思う事はありますか？

K：色々な人が参加している中で、そういう土壌でそれって

というのは、なかなか楽しかったですね。

D：いい意味で、自分たちは、SUPER MANでいうとクリプトナイトみたいな存在だからそれを上手く感じ取って、わかった上で入れてくれたらなるかなっていうのを感じた。他のものが赤だったら赤で括られるんだって、オレ達は紫とかピンクとかになるのかも。だいたい想像して、それが入る事によって全体がバランス良くなるっていうのを見越して入れたらなるかなって思うから、単純にクラブ営業の視野だけで見てないんだらうっていうのを感じた。次のコンビも面白そうだなって思いますね。結構コンビと違って一色で囲われちゃうようなものが多いじゃない。でも明らかに変な事をやっているから、そういう部分を押し出そうとして、それが受け入れられる曲があるってそれがこのHARLEMコンビだったのて凄いやり甲斐があって面白かったかな。

●ずいぶん昔になるとは思いますが、お互いの第一印象を教えてください。

K：オレは会う以前に知り合いにいろいろ聞いていて、変わってるって(笑)。面白いよって。それで割と初対面の時に普通に話しかけたら、いい感じの反応が返ってきて。割と第一印象はいい感じでした。

D：オレも第一印象は良かったよ。いろんな所からビート掘ってる、レコード持っているって聞いててどんな人なんだらうって。この前Samurai magazineに書きちゃったから読んでくれて感じなんだけど、良く言うとは見かけによらないって言うか、なんかこれオレと接点なさそうに思われるイメージだけど、凄く同じものがあるし、逆にオレの持っていないものもいっぱい持っているから、一緒にやることによって自分の開かない引き出しが開くような存在だから、オレもマエストロだって言い切りたいけど、彼もミュージックマエストロって感じがするよ。でも出たがりじゃないから、下がっちゃう所も多分、そこはオレが入って行ってキタちゃんはこの人間だぜって押しつけてあげたいような凄いやり才能の人だと思ふ。もっと評価されるべき男だからさ...

K：有り難うございます... (苦笑)。

●具体的にお互いを意識するようになったきっかけの曲や活動はありますか？

K：ある(DEV LARGE)が使おうとしていたネタをうちらが先使って、一番最初に出したCDだけど、ネタはGET AWAY TRAINだったかな。

D：それは人間関係の気持ちいいメロディーの曲で、女の子も聴けそう感じて、それに狂った調子を書いてやってるってループして作って、ある日CAVE行った時に誰かにCDもって家に帰って聴いてショック受けて、なんだよコレ、やられたって思って。ちょっとループしてる展開が違う部分もあるんだけど、二番煎じしなくて良かったからすぐに使おうかって話になって。結局出さなくて、7年位置かして。そろそろ使おうかな。結局年齢も近いし、オレ達が音楽にどっぷり漬かって、頭がガーって開いた時って、レアルグループが関係している時期だからあんな面白くも通るんですよ。自分が気持ちいいものって人にも聴かせたら気持ちいいものって思って、気持ちいい音楽って何だろうって模索する時期があって、その中で通った1枚でしょ？

K：うん、そうだね。

D：オレもそうだね。便利カタログ本ってあったからぐちゃぐちゃに買って、あ、きた！って思ってたのがアレで、悔しいんだけど先にやられた。

K：今はちょっと落ちてきているけど、若い頃はホント、レコードって感じてたから。とにかく聴いていたら、それだけ深く聴いていけば被る部分も出てくるだろうし。

●お二人ともいろんなジャンルのレコードを掘っていると思いますが、レコードに関してお互いこは負けないという所はありますか？

D：OLD SCHOOLはオレ、キタちゃんに負けると思ふ。

K：うん、OLD SCHOOLはかなり自信持ってる。今ちゃんは、やっぱり深い所を持ってると、見せてもらっても分からないの買ってるし。

D：いや、これ持っていないらうっていうのを見せるのよ、わざと。

K：(笑)。お互いでもそういう所あるのかも知れないけど、どうだ！みたいな。

D：そうそう。それないとか切破る磨きしないし、磨かれないから。そういう仲でいたいからね。

K：ある意味ライバル的。でも今ちゃんほどのジャンルもいっぱいあるから、ブラジルとかキタちゃんも持っているから凄いですよ。7inchも集めているし。

D：ROCKは凄く買ってるんですけど、実は、ROCKは小学校からハマって、ヘヴィメタも通ったので、今も100円300円コーナーとかで、怪しいクレジットとかタイトル曲とかミュージシャン見るとROCKは買って、すごい失敗が何クレイムもあるんですけど。

●7/24にFORCE OF NATUREのアルバムがリリースされましたが、聴いた感想は？

D：多分ね、似てる曲がないから、次は何が来るんだらうって1曲目から聴くとずっとワクワクすると思う。ネタ使いの部分は間違いないんだけど、それをそのまま使わずに、切って展開作っていたり、切り替りのパッチワークの作業が凄く優れているので、どっちかっていうと音楽好きより曲作る人間が聴いた方がいいと思ふ。例えばある程度の域まで出している人間は、このネタとこのネタはわかるっていうのが出て来るとは思ふ。聴いていて、これ使ってるんだらうな、でもこの曲来たのはなんだらうって疑問の部分が出て来るとは思ふので、その作る課程を知ってる人である程度まで



行った人が聴くと凄く意味のあるアルバムだと思う。勿論ビギナーも楽しめると思うけど。それでいて、スローなものから早いものまで入っているから凄く楽しめると思う。ああいうものが、今インストはあんまり売れない時代なのかも知れないけど、何か変わるような、一石投じる最初のステップのマーキングするような作品になるといいと思うんですけど。それによって日本中にインストで作ってる人はいっぱいいると思うから、みんなが驚くというよね。

K：そうだね。同じような事やってる人がいるなら、もっとパンパン出てきて欲しいし。

D：凄いいいアルバムだと思いますよ。

K：このアルバムでこういう形を見せられたので、これからはまたHIP HOPに戻って、そういう側面もガンガン出せればいいと思う。最初サンプリング物じゃないやつはダメだったんだけど、そういうのも色々聴いているうちに、やっぱり全体として、やるべき事が見えて来たかなって。HIP HOPはHELL RAISER CARTELを含め、これからはまた作品を出して行きたいですね。HELL RAISER CARTEL以外でも二人でやりたい事いっぱいあるんですよ。MIX TAPEも出したし、コンビとかもね。そういう過去の良い物を教える伝道師的な役目も果たせたいというの思ふ。

D：うん、結構使命感みたいなものもあるよね。知ってるんだらうたら他の人にも教えてあげたいなっている。オレ達だけでキープしないで、それによって全体が良くなればいいし、つまんないし、刺激欲しいよね。あ、でもね、HARLEMコンビのDJ君とTOKONAのヤツは凄く刺激的だった。凄く良かった。是非Remixしたい。

●サンプリングについて、打ち込みにもいいものは？

D：オレはね、え？って思うような、普通のミュージシャンが弾いても弾けないようなループを作る、というのは変な所で切るから。その感じってどうやって弾いたんだらうって楽器をやる人が悩んじゃうような面白い音と、例えば4拍、4拍、4拍で流れる所を2拍と5拍とか変則ループで切ることが出来るじゃない。そうすると変拍子の訳のわからないループになりますよね？それにまた訳のわからない変拍子のものをくっつけて、とりあえずHIP HOPは格好良ければ何でもいいって定義だから、そういう事が出来るので、そのクリエイティブの部分でちゃんと弾くところ、フラットな弾き方しか出来ないというものがあってもいいし、それをもう根底から覆すような変な発想でものが作れるのが面白いと思うんですよ。あと良い所取りでいい曲のドラムとかベースとかそれを聞かしたいに煮込んでどうだ！って出来るのが面白い。

K：やっぱり良い所取りの面白さが好きというか、2小節のループとか良いものを見つけてやると、サンプリングでしか出せないし、そういう弾き直しとかは。作るんだらうら今のHIP HOPの方が簡単そうなのがするんだよね。実際作ってないからわかんないけど、でも掘る作業しての方が出来る物も掘ると思うし、やっぱり音楽を聴いている人の方がいる良い物が出来るんじゃないかな。Q-TIPもそう言うたけど。

●二人にとってのヴァイナルを音楽で表すとしたら？

K：他に趣味がないもので、未だにレコードばかりなんで、もう生活の一部かな。

D：常能力を引き出せる総合芸術って感じ。自分の中に備わっている、普通にある当たり前の能力が使われてない部分でレコードを通じて引き出せる。絵的に感じたり、曲的に感じたり、何言ってるのかわからないリリックを聴いたり、曲の構成を勉強したり、ミュージシャンとミュージシャンの繋がりによってこういう音が出るんだとか。例えばあれとあれが加わるとこういう音になるって想像出来るじゃないですか。自分でパターンも作れるだろうし、創造性も高められるし、すごい頭使える良い物だと思う。趣味を最大に生かせるものというかな総合的に。楽しいよね。

K：完全に切り離せないものにはなってますね。今またちょっと変わってきたけど、若い頃はホントレコードばかりだったから。全部お金をそれに注いでたから。

●今後の予定は？

K：7/24にFORCE OF NATUREのアルバムが出て、その後8月にDJ SHADOWのREMIXが出て、今作業が終わっているのそれだけなんですけど、プライマーってFUSION COREのボーとライスの二人でやっているラップグループがあって、そのプロデュースをやる予定で、それとHIP HOPの仕事をガンガン増やしたいですね。とりあえず家にデモの曲がいっぱいあるので、もし興味のある方は是非。FORCE OF NATUREのアルバムはジャンルではとりあえず限定出来ない感じなんですけど、HIP HOPの人に聴いてもらっても引掛かる部分があると思うので是非聴いてもらいたいですね。女の子にも勧められて。

D：楽しそうって思っているの、今。あんまり詳しくは言えないけど、NIPPSのR&Bの女の子プロデュースしたいから一緒にやるって言われて、その子がいい感じだったらそれでしょう。あとS-WORDの新しいやつ、あとキタちゃんの後にプライマーやるでしょ。あと急ぎじゃないものが2つくらいあったかな。言えない物が多いです。それとHELL RAISER CARTEL。年内に2枚は切りたいね。

K：1枚は確実に切りたい感じ。

●読者へメッセージ。

K：SDPやります。アルバムを是非聴いて下さい。

D：HELL RAISERはホントに進めて行きたいものだよ。HELL RAISERがバナーって燃える、怒りでも衝動でも自分に打つような炎でも何でもいいたくて、HELLって言う位燃えるような火だしたら、オレはこうありたいっていう今の気持ちで、読んでる人もそうあるといいなと思うのは、やっぱり火でもあるけど水でもあるような自分で居たいと思ってるんですよ。水っていうのは火を一瞬で消す事も出来るし、どんな器に入ってもスルト入り込みますよね。一番強いと思うんですよ。だから水みたいな自分で居たいと思ってるし、それくらいフシキシルな我でありたいと思ふ。水は量があれば飲み込む事も出来るし、入れ物にスツと入り込む事も出来るし、水は熱されると蒸発させられるという弱みもあるんで、常に沈着冷静で物事にあたるCOOLな水でありたい。

K：オレも色々柔軟性をもって、やりたい事だらけで。HELL RAISERってあんまり知られてなくて、回りの友達とかからも意外と反応なかったりするから、HELL RAISER CARTELの布教活動に力を入れて行きたいですね。これからはいろんな側面を出していくので、名前を見かけたら是非チェックして下さい。

FORCE OF NATURE 1st Album "the forces of nature" ¥2,800 (W/O TAX) DMDCD-0004 Now On Sale!

ALBUM RELEASE PARTY 2002.8.16.FRI at WOMB DJ: KZA & DJ KENT (FORCE OF NATURE), DEV-LARGE, 白石隆之, DJ CHIDA ※当日4FラウンジではKZA&DEV-LARGEによる7レコード onlyのExclusive setを行います。 adm. ¥2,500/1d with flyer ¥2,000/1d INFO: 03-5459-0038 -WOMB- / 03-5784-1600 -DIMID RECORDINGS-